17

訓練コース番号【　5-08-27-002-05-5353　】

訓練カリキュラム

訓練実施機関名：株式会社イメージ・ラボ

訓練実施施設名：ハロー介護スクール梅田B教室

問合せ先住所：〒530－0027 大阪府大阪市北区堂山町1番5号　三共梅田ビル5階　事務局

問合せ電話番号：06-6311-3681

■土日祝日訓練の有無：　全日あり　／　○ 一部あり　／　なし

■法定講習に係る補講：　○ あり　なし　／　○ 有料　無料

■相モデルによる訓練：　○ あり　なし

■合同開催による訓練：　あり　○ なし

訓練の種別	✔	実践コース　（ 05 介護・医療・福祉分野 ）				就職を想定する職業・職種
		職場復帰支援コース（※基礎コースのみ）		託児サービスコース		短時間訓練コース（月80時間以上100時間未満）
		「企業実習促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	○	「職場見学等促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入		
						訪問介護員、施設介護員 サービス提供責任者
訓練科名	☆介護福祉士実務者研修・同行援護・ガイドヘルパー科					
募集期間（予定）	令和8年11月30日　～　令和8年12月17日					
選考日（予定）	令和8年12月25日					
選考方法	✔ 面接		筆記試験		その他（　）	
選考結果通知日	令和9年1月7日					
訓練期間	令和9年1月25日　～　令和9年7月24日　（ 6 か月 ）　（ 訓練日数 110 日 ）					
訓練時間	9 時 10 分 ～ 15 時 50 分			訓練定員	25 名	
訓練対象者の条件	特になし					
訓練推奨者（特定の者を想定する場合のみ）	新規学校卒業者	ニート等の若者	障害者	母子家庭の母等		
	被災者	外国人	その他（　）			
訓練目標（仕上がり像）	介護従事者としての職業倫理と幅広い知識・技能を習得する為に、専門の講師から的確な指導を受けることで、基本から応用までのスキルを身に付け、介護業界で活躍できる人材を育成する。					
訓練修了後に取得できる資格	名称（ 介護福祉士実務者研修 ）認定機関（ 株式会社イメージ・ラボ ）					任意受験
	名称（ 同行援護従業者養成研修一般課程 ）認定機関（ 株式会社イメージ・ラボ ）					任意受験
	名称（ 同行援護従業者養成研修応用課程 ）認定機関（ 株式会社イメージ・ラボ ）					任意受験
	名称（ 全身性障がい者移動支援従業者養成研修課程 ）認定機関（ 株式会社イメージ・ラボ ）					任意受験
① IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置（IT特例）の適用に係る希望の有無（適用を希望する場合のみ「○」を記入）						
② WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置（WEB特例）の適用に係る希望の有無（適用を希望する場合のみ「○」を記入）						
③ DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置（DSS特例）の適用に係る希望の有無（適用を希望する場合のみ「○」を記入）						

訓練内容

訓練概要：介護従事者に必要な制度、倫理観と認知症ケアや障がい者に関する知識を学科で理解・吸収していただきます。そして、所内の実技演習で介護技術を習得し、実際に企業実習で経験を深めます。（日によって訓練時間が異なる場合があるため、詳細については、訓練校にお問い合わせ下さい。）【職場見学等推進】

	科目	科目の内容	訓練時間
学科	開講式・オリエンテーション・修了式	開講式・オリエンテーション（3H）　修了式（3H）	
	安全衛生	心身の健康管理、整理整頓の原則	1時間
	人間の尊厳と自立	尊厳の保持、自立・自律の支援、ノーマライゼーション、利用者のプライバシーの保護、権利擁護、介護の基本的な理念	6時間
	社会の理解	介護保険制度、社会保障制度、障がい者自立支援制度、介護実践に関する諸制度	36時間
	介護の基本	介護福祉士制度や介護福祉士の倫理、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全	30時間
	コミュニケーション技術	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	20時間
	介護過程の理解	介護過程の目的、意義、展開の理解、情報収集、アセスメント、介護計画の評価と見直し	45時間
	発達と老化の理解	老化に伴う心と体の変化と日常生活への影響、人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病と留意点	30時間
	認知症の理解	認知症による生活障がい、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本と、医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実際	30時間
	障がいの理解	障がい者福祉の理念、障がいによる生活障がい、心理・行動の特徴、障がい児者や家族へのかかわり・支援の基本と、医学的側面から見た障がいの理解、障がい児者への支援の実際	30時間
	こころとからだのしくみ	介護に関係した身体の仕組みの基本的な理解、人間の心理、人体の構造と機能、身体の仕組み、心理・認知機能を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント・介護・連携の留意点	50時間
	医療的ケアの知識	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）、経管栄養（基礎的知識・実施手順）	60時間
	同行援護の知識	障がい者（児）福祉制度と同行援護事業、同行援護従業者の業務、同行援護従業者の職務倫理、障がい者の人権、障がい者の理解、障がい者（児）の心理、介助の基礎知識	20時間
	全身性障がい者移動支援の知識	障がい者（児）福祉制度と移動支援事業、移動支援従業者の業務、移動支援従業者の職務倫理、障がい者の人権、障がい者の理解、障がい者（児）の心理、移動介助の基礎知識	13時間
	アンガーマネジメントの知識	怒りの感情の理解、感情のマネジメント方法、他者理解	5時間
	就職支援	面接指導、履歴書作成指導、ジョブ・カード作成支援、応募書類のメール送付時の留意点	3時間
実技	生活支援技術	介護技術の基本（移動・移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助）、環境整備、福祉用具の活用の視点	50時間
	介護過程の実践	知識・技術を活用した介護過程の展開、利用者の状況に応じた介護を実践するための応用力	45時間
	こころとからだのしくみ演習	介護に関係した、身体構造や機能に関する演習	30時間
	医療的ケア演習	シミュレーターを用いた喀痰吸引演習（口腔、鼻腔、気管カニューレ内部）、シミュレーターを用いた経管栄養演習（胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養）	22時間
	同行援護の演習	同行援護における基本介助技術	16時間
	全身性障がい者移動支援演習	移動介助の基本技術、交通機関利用の介助演習	11時間
企業実習		実施しない　✔ 実施する	70時間
職場見学、職場体験、職業人講話		【職業人講話】「介護員としての心構え」（介護業界のデジタル技術活用事例の紹介を含む）1時間×2回	2時間
		【職業人講話】「介護員に求められる人物とは」1時間×2回	2時間
		【職業人講話】「介護業界の動向と特徴」1時間×2回	2時間

訓練時間総合計　629時間　（学科 379時間　実技 174時間　企業実習 70時間　職場見学等 6時間）

受講者の負担する費用：教科書代 0円／その他（全身性障がい者移動支援演習及び同行援護の演習に係る交通費）680円／備考（企業実習に係る交通費実費、健康診断料800円（税込）、法定講習欠席に係る通学補講費1回：3,000円（税込）は別途発生）／合計 680円

指導方法

訓練形態（個別指導・補講を除く）	✔ 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する オンラインによっても指導する（当該日通所可能・混在型）　オンラインによっても指導する（当該日通所不可・単独型）　オンライン計　時間
施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	座学に加え、ロールプレイングやグループワーク等の体験学習を積極的に取り入れ、学習効果を高める。 介護ベッド等、介護現場で使用されている介護器材を使用し、様々な介護場面における介護技術を習得する。
受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	講義及び実技・演習を通じて、受講生が介護に対する取り組み方や考え方が理解できているか、習得度を講師が常に把握し、理解が深まっていない受講生に対しては、訓練終了後に個別に対応を行う。

訓練実施施設所在地地図	訓練実施施設住所：〒　530-0027　大阪府大阪市北区堂山町1番5号　三共梅田ビル5階　B教室



【最寄駅】地下鉄谷町線「東梅田駅」より徒歩約5分
地下鉄御堂筋線「梅田駅」より徒歩約8分
JR大阪駅より徒歩約10分

訓練カリキュラム(企業実習用)

	科目		科目の内容	訓練時間
訓練内容	実技	生活支援技術 ・ 介護過程の実践	生活サイクルの確認、利用者の確認、利用者の生活支援 介護過程を踏まえたサービス提供	69時間
	その他	安全衛生	衛生管理項目の確認、救命装置の設置場所確認、 うがい・手洗いの徹底、衛生用具の使用、安全姿勢	1時間